

令和7年度都立足立高校における教科指導の重点

	1 令和7年度の「教科指導の重点」	2 今年度の取組
国語	理解語彙、使用語彙の拡張 文章構造をとらえる力の育成 教材を通して多様な価値観と豊かな心を育む。	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の読解やテストを通して語彙を獲得する。 ・教材の精読を通して文章の構造をとらえる。 ・教材の解釈において他者と意見の交換を行うことで多様な価値観と豊かな心を育む。
地歴・公民	社会的な事象を、事項の羅列を暗記する学習に終始するのではなく、多面的・多角的な思考を育て、原因や結果の予測などでもできる能力を養成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業においては、提示する史資料の精選に努める。 ・考査においては、知識と思考力を測る問題を精選する。
数学	基礎基本の学力の定着 ICTを用いて、数学的思考を身に付けさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを用いて、振り返りができるような学習を提供する。 ・生徒の実態に合わせた発問、授業計画の実施
理科	自然の事物・現象について理解を深め、定性的・定量的に分析しようとする態度を身に付けさせる。 基本的な計算能力を身に付けさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内や定期試験で知識の定着度を確認し、振り返りを行う。 ・長期休業中等に、個の学習能力に応じて補習や講習を実施する。
体育	生涯スポーツの実践 生きる知恵を身に付けさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯を通じて運動を生活の一部として取り入れ、定期的・継続的に運動する習慣を身に付け、明るく豊かな生活を営む態度を育成する。 ・「健康を守り保つこと」を知り、『生きる知恵』を身に付けさせる。
芸術	主体的に課題に取り組む姿勢を身に付けさせ、芸術を身近なものとして愛好する心情を育む。	<ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた目標を設定する。 ・生徒の実態に合わせた課題の実施 ・スモールステップでの言葉掛けを行い、自己有用感を高める。
英語	主体的にコミュニケーションをはかる意欲と、その前提となる基礎知識の習得	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTとのチームティーチングなどを活用したインタラクション重視の授業 ・個別指導の推進
情報	教科を横断した「情報活用能力」の育成及びICT機器を用いた主体的な学びの促進	<ul style="list-style-type: none"> ・スマスク端末等のICT機器を活用した授業を積極的に行う。 ・Web教材等を用いて、生徒自身がICT機器を使った主体的な学びを行い、活用を習慣化する。
家庭	キャリア教育を意識し、問題解決能力、意思決定能力、対人能力、思考力、判断力・表現力の育成を目指した言語活動や題材を充実させることにより、自己のライフプランを展望し、生涯を見通して生活を考える力や生活の実践力を身に付けさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・アクティブラーニングの推進 ・他教科における学習との関連付け
商業	基礎・基本の重視と資格取得の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・教員間での効果的な指導方法の共有 ・個に応じた指導の重視